

令和２年度第９回理事会議事概要

日 時 : 令和２年１２月４日（金）１５：３０～１５：５０

場 所 : 森林総合研究所特別会議室（つくば市）
（上理事、猪島理事、井田理事、鈴木監事、高橋総括審議役、石原総括審議役、中山審議役はＴＶ会議で参加）

出席者	理事長	浅野 透
	理事（企画・総務・森林保険担当）	矢野 彰宏
	理事（研究担当）	坪山 良夫
	理事（育種事業・森林バイオ担当）	上 練三
	理事（森林業務担当）	猪島 康浩
	理事（法令遵守担当）	井田 裕之
	監事	鈴木 直子
	監事	平川 泰彦
	総括審議役	寺川 仁
	総括審議役	高橋 和宏
	総括審議役	石原 聡
	審議役	中山 浩次
	企画部長	河原 孝行
	総務部長	青柳 浩

1. 開会

(寺川総括審議役)

令和2年度第9回理事会を開催いたします。

本日は報告事項が4件です。それでは順次、説明をお願いいたします。

2. 議事

I-1 職員給与規程の一部改正について

(青柳総務部長)

職員給与規程の一部改正につきましては、11月の理事会で労働組合と妥結後に職員給与規程を改正すると報告させていただいたところです。その後妥結しましたので、職員給与規程の改正を行いましたとの報告になります。具体的には、この資料にありますとおり、国家公務員に準じまして、特別給支給割合を0.05月分引き下げるということでございます。職種別の支給割合につきましては、各職種とも0.05月分減っているわけですが、再雇用職員については、国の再任用職員も改定されていないということ、月数も少ないということもありますので、改定を行っていません。改正時期につきましては令和2年12月1日になっております。

I-2 (国研) 森林研究・整備機構における新型コロナウイルス感染者の発生について (非公表)

※青柳総務部長から本件の説明が行われた。

I-3 (国研) 森林研究・整備機構における新型コロナウイルス感染症対策について (寺川総括審議役)

新型コロナウイルス感染症対策について説明させていただきます。資料の方は9月4日までにについてはすでに説明させていただいています。6ページの4つ目の11月16日「地域状況に応じた新型コロナウイルス感染防止対策のお願い」を発出についてですが、11月に入ってから北海道等で感染者が非常に増えたということで、理事長からのご指示もありまして、地域状況に応じた感染防止対策を適切に講じることを地方組織へ要請するというものを出しております。これに基づきまして、北海道支所等で対応をすぐ取っているということでございます。11月16日の二つめが、「新型コロナウイルスに係る感染予防対策について」変更を発出ということでございます。内容は「帰国者・接触者相談センター」と記載があるところを「各都道府県が定める連絡先」と変更したことです。背景はご承知かと思いますが、感染の疑いが有れば、「帰国者・接触者相談センター」に相談しなさいということだったのが、「帰国者・接触者相談センター」を通さずに身近な医療機関に相談、あるいは診察ができるような体制に10月中にしなさいという事務連絡を厚生労働省が都道府県に出している、そういうことに対応したものです。すでに茨城県も11月に入ってからそういう体制になっていると聞いています。

1 1 月 1 6 日の三つめはPCR検査の結果で「陽性」が発生した場合の対応マニュアル」(Ver. 3)」を発出でございますが、「帰国者・接触者相談センター」を「各都道府県が定める連絡先」に変えたということでございまして具体的に言いますと、プレスリリースのひな型がこの中にありまして、そこについて所要の変更をしたということでございます。なお、これは機構の実行本部から発出したものですが、その他に1 1 月 1 7 日この翌日になるのですが、森林総合研究所では、申請の上、当分の間ですが、公共交通機関利用者は自宅等勤務を認めるということを出しております。また、1 1 月 2 7 日茨城県知事が緊急メッセージを出しております、先程も触れられましたけれども、つくば市等については1 2 月 1 3 日まで感染拡大市町村というふうに指定して、不要不急の外出等を自粛してくださいということになっておりますので、それを受けまして、当方も1 2 月 1 3 日までは研究職と一般職では少し取り扱いが違うのですが、手続きを取ったうえで自宅勤務ができるとしたところでございます。そういう対応を取っていますというご報告でございました。

(井田理事)

一般職の方の自宅勤務についての試みを夏から始められたと思いますけれども、そのことについての体制の整備の進み具合はどんな感じでしょうか。

(青柳総務部長)

1 1 月まで試行で行ってまいりました。延べ1 0 0 人近い方に試行を行っていただいております。現在そこを踏まえまして、関係規程、就業規則の方もいじらなければならないことがありまして、事務方としましては各センターとの意見交換をしながら準備をしているところでございます。目指しているところは来年度早いうちには制度化していきたいということでございます。

(井田理事)

もう少しスピードアップしてもらうことをお願いいたします。

(青柳総務部長)

規程とかを整備しております。ちなみに在宅勤務用で使用するソフトのカチャットというものは今回の自宅等勤務においても活用はしております。

(井田理事)

承知しました。

(寺川総括審議役)

条件が整えば、なるべく早くやっていきたいということながら、整備する規程等があるということでございます。

I－4 令和2年度特定母樹等普及促進会議の開催状況について (上理事)

第4回の理事会で特定母樹等普及促進会議の予定を報告させていただきましたが、今回各地区での開催状況を報告させていただきます。コロナ下であるため、開催方法はメールを使ったり、Web会議だったり、集合会議とWeb会議を併用したり、書面配布会議だったり、それぞれの方法で開催されております。次のページのところに開催にあたり、いろいろな要望が出されています。原種の安定的な供給、少花粉の特性を持つ特定母樹の開発、技術指導、品種情報をわかりやすく周知してもらいたいという要望が出されました。会議の中で参加者と情報共有を行い、要望に対してもそれぞれ、進められるところに取り組んでいくということで会議が終了しました。開催状況として、東北地区と関東地区の会議の様子を載せています。

(寺川総括審議役)

ほかに質問がないようでしたら、これで令和2年度第9回理事会を終了いたします。次回は本来ですと1月8日の開催ですが、コロナ対策のための年末年始の休暇の分散ということで、1月4日から8日の会議はなるべく開催しないという全体的な方針に基づきまして、令和3年1月15日（金）に開催となります。

3. 閉会